



2017 年 11 月 13 日

アウディ ジャパン株式会社
プレス問い合わせ 03 - 5475 - 6309
<https://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598106
アウディ コミュニケーションセンター

ツインリンクもてぎで DTM と SUPER GT マシンの共演が実現

- Audi RS 5 DTM をファクトリードライバーとして活躍中のロイック・デュバル選手がドライブ
- 世界初、6 台の「クラス 1」車両によるランデブー走行が実現

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：斎藤 徹）は、新型 Audi R8 LMS で SUPER GT の GT300 クラスに挑戦するカスタマー（プライベート）チームを支援しています。11 月 11 日（土・公式予選）、12 日（日・決勝）、ツインリンクもてぎ（栃木県）にて、2017 AUTOBACS SUPER GT 第 8 戦（最終戦）となる「MOTEGI GT GRAND FINAL」が開催されました。

その両日、最終戦を飾るイベントとして、ドイツの人気レースである DTM（ドイツツーリングカー選手権）に参戦する Audi RS 5 DTM、BMW M4 DTM、Mercedes-AMG C 63 DTM の 3 モデルが来日し、デモ走行が行われました。近年、DTM と SUPER GT GT500 クラスは、「Class One（クラス 1）」と呼ばれる車両規定統一化に向けて交渉が進められています。すでに 2014 年から GT500 クラスと DTM はモノコックを中心にパーツの共通化がはじまっており、このイベントは将来的な両シリーズ交流戦などへの期待を込めて行われたものです。

11 日（土）、12 日（日）ともに快晴に恵まれ大観衆が訪れたツインリンクもてぎを、まずは 3 台の DTM マシンがデモ走行を行い、4ℓ V8 エンジンのサウンドを響かせました。（2019 年シーズンより DTM 車両も GT500 クラス車両と同じ排気量の 2ℓ 直 4 ターボエンジンに統一される予定）。その後、3 台の GT500 車両（レクサス LC500、Honda NSX-GT、日産 GT-R）が合流し、ゆっくりとしたペースで約 3 周をラップしました。世界で初めて「クラス 1」規定の車両 6 台が集い、近い将来の DTM と SUPER GT の交流戦を彷彿とさせるランデブー走行が実現した、歴史的な瞬間となりました。

デモ走行で Audi RS 5 DTM のステアリングを握ったのは、Audi のファクトリードライバーとして DTM で活躍中のロイック・デュバル選手。かつてはスーパーフォーミュラや SUPER GT など日本のレースでもシリーズチャンピオンを獲得。2012 年から 2016 年シーズンまでは Audi R18 で WEC（FIA 世界耐久選手権）に参戦、2013 年にはル・マン 24 時間レースでも優勝した世界トップレベルのドライバーです。

ロイック・デュバル選手のコメント

「DTM の代表として日本にすることができとても光栄です。今回はレースではありませんでしたが、日本の SUPER GT のマシンと一緒に走る体験はとてもハッピーで、日本とドイツ、合計 6 つのマニファクチャラーの素晴らしいマシンが集ったとてもエキサイティングな瞬間でした。DTM と SUPER GT の差異ですが、エンジン以外に大きく 2 点あります。1 つが、DTM は 1 人のドライバーが走るスプリントレース。一方 SUPER GT は 2 人のドライバーが交替で長い距離を走る耐久レースであること。もう 1 つがタイヤで、DTM がワンメイク、SUPER GT は 4 社のマルチメイクです。こうした違いはありますが、将来的な交流戦は私だけでなく、関係者の皆さん、そしてレースファンにとっての夢です。個人的にもリタイアするまでにアウディと一緒に日本に戻ってきたいと思っています。楽しみにしてください」